

第91回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年8月24日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配付資料

第91回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○末松副大臣

- ・肉牛出荷停止の一部解除があった。喜ばしい。
- ・8月27日に放射性物質対策，徐染処理の形が政府で示される見込みである。

○小野寺危機管理監

- ・死者は9,315人，行方不明者は2,350人，避難者は6,137人である。
- ・被害額は2,100億円増加し，住宅関係で2万6千棟分が増えた。その結果，6兆9,287億円となっている。

○今野総務部長

- ・特になし

○伊藤震災復興企画部長

- ・特になし

○環境生活部

- ・放射性物質の測定報告は，水道関係は変化なしであるが，岩沼市の玉崎浄水場の発生土から27,000ベクレルが検出されたため，処分方法が決定するまでに適切に保管管理する。
- ・空間は微減で，学校，保育所等の校庭の1,627施設で0.76～0.04ベクレルであり，いずれも基準以下である。

○岡部保健福祉部長

- ・孤児は1人増加で120人である。寄付金は8億4百万円である。ボランティアは土曜が2,276人，日曜が1,154人活動した。

- ・義援金は209億円，計853億円で71.8%支給した。

○経済商工観光部

- ・高等技術専門校における特別訓練コースの訓練を開始した。

○千葉農林水産部長

- ・漁港等の瓦礫処理は9月までかかる，漁場は60%完了した。牡鹿魚市場が9月初旬再開予定であり，七ヶ浜は9月中に仮設市場を設置予定である。

○橋本土木部長

- ・住宅関係被害について，災害査定が43.5%完了した。
- ・9月1日から住宅局所管の災害公営住宅に係る住宅滅失戸数の査定を実施する。
- ・仙台空港で平成24年3月25日から仙台上海北京線が再開される。また，3月27日から大連経由が再開される。
- ・仮設住宅の完成率は89.6%であり，22,050戸ですべて着工済みである。

○竹内警察本部長

- ・遺体について，9,409体収容した。2週間で20体収容し，海上が16体であった。引渡数は9,399体であり，遺族が7,753体，市町村が1,646体である。
- ・他県からの応援は840名である。1ヶ月前は1,300名であり，徐々に縮小している。

○海上保安庁

- ・遺体について，前回から9体収容した。石巻市，女川町，仙台港で収容した。累計183体である。

○教育委員会

- ・人的被害について，石巻市，女川町で判明し，計315名になった。
- ・学校避難所は44校である。
- ・プールの放射能を測定し，不検出であった。